

トマト台木の線虫抵抗性が打破されている

農業研究部

1. 研究の背景

現在、夏秋トマト栽培ではサツマイモネコブセンチュウ抵抗性の台木が使用されているが、センチュウ被害が発生している。この原因としては、サツマイモネコブセンチュウ以外の線虫や抵抗性打破系統のサツマイモネコブセンチュウが発生している可能性が考えられた。そこで、現地における線虫種の調査と抵抗性打破検定を実施した。

2. 研究成果の内容・普及のポイント

現地における線虫種のうち、サツマイモネコブセンチュウが約80%を占めていた（表1）。抵抗性打破検定の結果、被害株のサツマイモネコブセンチュウは全て抵抗性打破系統であることが確認された（表2）。今後、線虫抵抗性台木を使用して被害が生じる場合、台木のみでの対策では効果がないため、土壌消毒等を含めた防除への切り替えが必要である。

表1 トマトほ場における線虫種調査結果（頭）

調査地点	サツマイモネコブ センチュウ	アレナリアネコブ センチュウ	キタネコブセン チュウ
a	16	0	0
b	16	0	0
c	8	0	0
d	17	6	0
e	50	0	0
f	0	51	0
g	50	0	0
h	0	24	0
i	106	0	5
j	63	0	0
合計	326	81	5

表2 抵抗性打破検定結果

調査 地点	線虫種	供試品種	抵抗性 遺伝子	根こぶ程度			抵抗性 打破
				株1	株2	株3	
e	サツマイモネコブ	ブロック	有	3	3	3	○
	センチュウ	ポンテローザ	無	3	3	3	
g	サツマイモネコブ	ブロック	有	3	3	3	○
	センチュウ	ポンテローザ	無	3	3	3	
j	サツマイモネコブ	ブロック	有	3	3	3	○
	センチュウ	ポンテローザ	無	3	3	3	

根こぶ程度（0：無、1：小、2：中、3：多、4：甚）

注）○は抵抗性が打破されていることを示す。

3. 期待される効果

総合的な線虫防除対策を検討する上での基礎資料となる。

4. 担当機関連絡先

大分県農林水産研究指導センター農業研究部 病害虫対策チーム

TEL：0974-28-2078

住所：豊後大野市三重町赤嶺2328-8